

留学状況報告書

教育文化学部 学校教育課程 教科教育実践選修 4年次 佐藤絵理香

派遣大学：セントクラウド州立大学

派遣期間：2008年6月～2009年5月

渡航年月日：2008年6月7日 帰国年月日：2009年5月14日

ミネソタ州セントクラウドについて

今回私は、アメリカのミネソタ州にあるセントクラウドというところに留学しました。ここは秋田よりも四季がはっきりしています。夏は暑く、夜9時過ぎまで日が落ちないので、夜という感覚がしません。しかし、冬は日が落ちるのも早く、気温はマイナス40度に達します。秋田大学の学生が留学をする期間はだいたい9月から5月までなので、ミネソタでいえば秋から春なるかならないかという期間を過ごすこととなります。防寒対策はしっかりと生活する必要があります。

ミネソタの冬は寒いですが、現地の人たちはとても心温かい人たちです。私が友達のおじいさんの家に数日間ホームステイした時には、私と本当のおじいさんと孫のように接してくれました。また、私がとてもうれしかった出来事は、私が買い物の帰り道、重い袋を両手に持って歩いていたら、車から女性の方が声をかけてくれて、そのまま大学内にある寮まで送ってくれたことです。その方はそれだけでなく、電話番号が書かれた紙を私に手渡してくれて、「何か助けが必要な時は、いつでも電話してね。」と行ってくださいました。その時は本当にうれしかったです。このように、ミネソタにはとても優しく、親切な人が多いです。

勉強面について

皆さんもご存知のとおり、私のように秋田大学の提携校に留学すると、学費は免除で、かつ、好きな授業を取ることができます。ただし、私が通っていたセントクラウド州立大学では、1つの学期で15単位までしか取ることができません。15単位というと、それだけしか取れないのかと思う人がいると思いますが、アメリカの大学では15単位もの授業を取れば「君は勉強を頑張っているんだね!」とほめてもらえるようなくらいです。なぜかと言うと、アメリカでは予習・復習は大前提で、それに加え宿題もたくさん出るので、1つの学期に4、5クラス履修するというのが留学生の負担になりすぎない程度なのです。1つのクラスが週2回あったり、一回の授業が2時間半もあったりと授業の時間、回数、また時間帯（夜のクラスもあります。）も様々なので、色々な授業を調べてみてください。

しかし、何の授業を取ればいいのか分からないという人もいます。そういった時は、ジェームズ・ロビンソン先生が交換留学生に授業履修のアドバイスをしてくださるので、ジムにメールをしてお勧めの授業を提案してもらうことができます。何か分からないときや相談したいことがあれば、積極的にジムに聞くことをお勧めします。

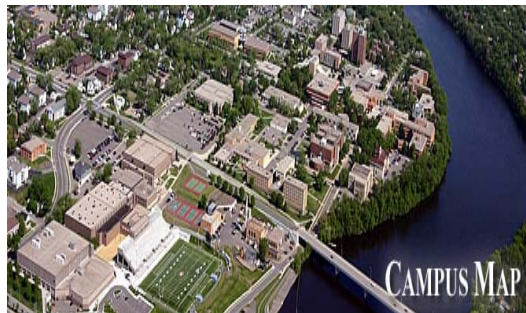


生活面について

アメリカでの生活で不安になることの一つとして食生活があげられると思います。セントクラウド州立大学では、「ガービー」という食堂があり、バイキング形式で食事をすることができます。ピザやパスタ、サンドウィッチ、サラダ、アイスクリームなどメニューは豊富ですが、毎日行っていると飽きてしまう可能性が高いです。入学の前に、ミールプランと言ってガービーでの食事の頻度に応じてお金を先払いする制度があります。4種類ほど選択肢があるので、自分に合った回数ものを選択してください。入学後、回数券のように購入することも可能なので、自炊がしたいという人はそれでもいいと思います。ちなみにキッチン各寮の1フロアに共同のものが1つあります。フライパンなどは、寮のフロントで貸出しています。

もう一つ、友達が作れるか不安に感じている人もいると思います。しかし、友達をつくることはそれほど難しくありません。授業ではグループワークが多いので、自然に知り合いが増えますし、中国や韓国からの留学生も多いので、位置的にも文化的にも近い中国や韓国の人たちとは会話が弾むと思います。

(中国や韓国の人たちの多くは日本に関心があるということもあるので) また、大学には、JP ネットワークというサークルのようなものがあります。ここでは日本からの留学生と日本好きのアメリカ人が集まり、話をしたり、イベントの計画をしたりします。そこで多くのアメリカ人と友達になれますし、ほかの日本人と知り合いになれることも利点だと思います。さらに JP ネットワークでの最大のイベントとして **Japan Night** があります。これは日本の文化を地域の人に知ってもらおうという目的で毎年行われます。浴衣のファッションショー、太鼓の演奏、今年はソーラン節を踊ったりもしました。このイベントはとても楽しいのでぜひ準備の段階から参加してみてください。他の国の人たちも同じように年一回イベントを行うので、異文化を知る機会として行ってみたいかどうか。



まとめ

ここまで色々と話をしてきましたが、私にとって留学は知識の幅、人脈の幅を広げるものでした。いろいろな授業から知識を得て、またいろいろな人から考えを聞き、自分の考えに広がりをもつことができました。また、たくさんの人と出会い、友達ができ、貴重な体験をすることができました。これから留学を考えている人はぜひ積極的に行動してみてください。何か不安なことがあれば、担当の先生も（セントクラウドの担当は村上東先生です。）、先ほど紹介したジムも丁寧に対応してくれます。悩んでいるのなら、まず先生たちから情報を集めることから始めるといいと思います。留学はホームシックやカルチャーショックなどマイナスに感じることもあると思います。しかし、楽しいことはたくさんありますし、カルチャーショックなども留学しないと経験できない貴重なこと（授業によってはその授業の話題にもなります）でもあるので留学を通して経験してみてもいいのではないでしょうか。

